

一般質問

熊木 照明 議員

ネットいじめの実態と
対応策をどう考えるか
「有効な取り組みの検討を進める」

議員 ネットを介したい
じめが急速に少年の間で
広がってきており、大き
な社会問題になってい
る。昨年の報告では、7
件の報告件数があった
が、その後の報告件数は
教育部長 昨年の7件は
すべて解消されたが、最
近の事案は3件ある。
議員 対応策として、教
職員はもちろん、児童生
徒に対するインターネット
トや携帯電話などの正し



▲携帯電話との上手な付き合い方を学んでいます（笹目小）

い安全な利用方法
について、教育的
指導はされている
のか。
教育部長 対応策
について各学校で
情報モラルやマナ
1を指導計画に位
置づけ、外部から
専門家を招き、保
護者の参加も呼び
かけ、「ケータイ安
全教室」を開催し、
事故防止を積極的
に啓発している。

医療費低減対策を
議員 医療保健センター
における医療費の軽減に
つなげるジェネリック医
薬品のアンケート調査の
結果は。また、患者さん
が利用しやすくするため
の希望カードの作成は。
医療保健センター事務長
ジェネリック医薬品を知
っている人は積極的に処
方してほしい。カードに
ついては、他の自治体の
会を増やし、周知、指導
を図っていく。

動向を見ながら考え、ま
ずはセンター内にポスタ
1等を掲示し啓発する。
パスポート申請を
市内で
議員 市民の利便性を考
え、戸田市内でパスポ
ト申請ができるように
ならないか。

総務部長 県の移譲ス
ジュール、設置条件等
を確認しながら、協議・
検討をしていきたい。

補助金等は精査などの
見直しを行ったのか

「指針をもとに各部署で行った」

議員 補助金をいただきたい
ている市民の声は、市か
ら一律減額の通知があ
り、説明を聞く暇もなく
減額されたと聞く。前議
会では、一律削減はしな
いとの答弁があった。議
会軽視ではないか。

財務部長 補助金等の適
正化に関する指針によ
り、補助金等の削減に
しては、各部署で行っ
ている。
道路交通法改正に
伴った市の対応は

議員 6月1日より道路
交通法の一部が改正さ
れ、①自転車安全に通
行するための道路づく
りの考えは。②お年寄り
児童、小さな子を持つ
親を含め、市民に対し
改正された法律をどの
ように周知し、そのた
めの安全指導をどの
ように行っているか。
都市整備部長 ①市内
の都市計画道路の整備
により、自動車の通行
の円滑化を初め、歩
行者、自転車等の交
通のネットワーク



▲歩行者・自転車が安心して通行できる道路づくりが求められています

議員 予算の比
率を見ると、本
市は食育に力を
入れていること
がわかるが、今
後の方針につ
いて、①単独校調
理場建設にかけ
る予算削減の具
体的な方法は。
②これから建設

給食施設整備の
計画は

議員 予算の比
率を見ると、本
市は食育に力を
入れていること
がわかるが、今
後の方針につ
いて、①単独校調
理場建設にかけ
る予算削減の具
体的な方法は。
②これから建設

教育部長 ①建設する
施設の主要な構造の見
直しも含め、コスト
削減を進めていく。
②21年度は笹目
東小の建設、22、
23年度は新曽北小
か笹目小を予定。
その後、残る学校
は、費用対効果を
検討し進める。

細井 幸雄 議員

荒川氾濫の危険性は
…そして有効な対策は
「有事を想定し、避難対策を考える」

議員 最近、国はしき
りに大河川氾濫の危
険性を公表してい
る。国の意図は何
か。また、有事の
対策はどうか。
総務部長 豪雨の
発生頻度が近年
増加傾向にある
ことから、国は
荒川の氾濫にお
ける被害想定を
進めている。
既に各戸に配
布した洪水ハザ
ードマップで示
したように、氾
濫した場合、市
内全域が最大4
m超の浸水とな
る。そのため市

は市民の生命を守る
ことを第一に円滑な
避難が図れるため
の対策を検討し
ている。
同時に最も肝要な
ことは、市民一人
一人に災害発生
の危険性を認識
していただき、平
時から、いざと
いう時の備えを
していただくこ
とであり、その
ための啓発活動
に力をつけてい
く。
市内中小河川、特
に新曽地域の河
川洪水対策は



▲平成17年9月の集中豪雨で水没した戸田駅前の道路

議員 新曽
のほぼ一帯の
雨水排水を受け
持つ上戸田川
の工事の状況
と今後の計画
はどうか。
都市整備部長
1時間当たり
50mmの降雨
に対応できる
構造にするた

めの二枚橋上流の
拡幅、橋の架け
替え等の改修は
今年度で終了し
、以後の延伸工
事は区画整理事
業と並行して実
施を予定してい
る。
工事の長期化は
避けられないが
、できる限り早
期整備を目指す。
上流の蔵市の雨
水事業計画にも
常に注目し、完
成までの間の洪
水対策に遺漏な
いよう努める。

とだ議会だより

議員 本年度、第四
期分の介護保険料
が決定される。県
内一高い本市の介
護保険料を引き下
げ、高齢者の負担
軽減を行うべき
ではないか。

「引き上げる、引き下げるとも言えない」

県内一高い介護保険料
の引き下げを

本田 哲 議員

福祉部長 現段階
では、計画策定に
必要な各種基
準が国・県から示
されていないの
で、保険料を引
き上げる、引き
下げると答えら
れる状況ではな
い。

議員 今、無年金
や低年金、介護保
険料が高いこと
と、家族同居して
も生活全体が苦
しいことから保
険料を納めるこ
とができない状
況が広がってい
る。しっかりと高
齢者の生活実態
を見て、負担軽
減となるような
保険料設定を強
く要望する。
青少年の広場の
安全対策を
議員 依然として
ボールがネットを
越え、菖蒲川

に落ち、子ども達
がボールを取り
入れる川に入っ
ていないように
、市の施設とし
て責任ある安全
対策を講じる
べきではないか。
子ども青少年部
長 さまざまな
方法で利用者
に注意を呼び
かけている。
利用者の責任
において、安全
に遊ぶことが
基本と考える
が、施設面にお
いても、可能
な範囲で改善
に努める。

議員 広場の目的
、注意事項には
、利用者に責任
を強めて安全
を委ねること
とは何一つ書
かれていない
。市の施設とし
て市民に開放
している以上
、しっかりと
した安全対策
をとる責任が
あるのではない
か。一日も早く
万全なる対策を
講



▲フェンスの高さなど安全対策が求められている青少年の広場